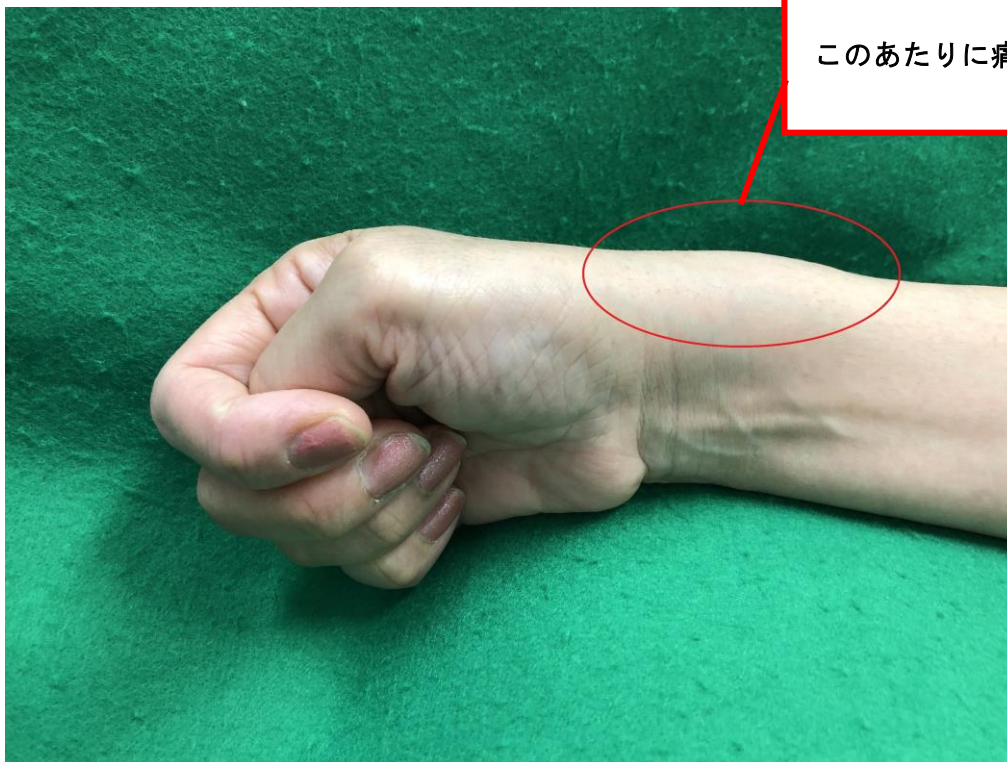


ドケルバン腱鞘炎（けんしょうえん）

症状	手首の親指側に痛みや腫れが起こります。この痛みは特に、親指を曲げ伸ばししたり、親指を他の指で握りこんだまま手首を小指側に動かす（尺屈する）と出現しやすいとされています。
原因	手指の腱鞘炎と同様に、日常生活において手指をよく使う方（例えば、手をよく使う仕事の方、パソコン作業が多い方、家事で手作業が多い方など）に多く起こります。また、女性ホルモンの影響も一因であると言われており、出産後や更年期以降の女性は要注意です。
病態	腱を抑える腱鞘というトンネルは、手指だけでなく、手首にも存在します。腱鞘の中で炎症が起こったり、腱鞘が分厚くなったりすると、腱と腱鞘が擦れるようになり痛みが起こります。
治療	まずはサポーターで局所的な安静を図ったり、シップや軟膏を用いたりするのが治療になります。サポーターには色々なタイプがありますので、整形外科でご相談ください。痛みが強い場合はステロイドの腱鞘内注射を行います。それでも改善がなければ、厚くなった腱鞘を切開する手術も考慮します。



このあたりに痛みが出ます